

合併の概要

合併年月日／平成 15 年 9 月 1 日
合併分類／更埴市、戸倉町、上山田町の 1 市 2 町新設合併
適用法律／合併特例法

〒389-0897
長野県千曲市上山田温泉 4-15-1
TEL026-275-1050 FAX026-276-0796

システム統合の取り組み

概要

農地基本台帳システムの統合方法

- ・ 既存システムへの統合

全庁システムの管理主体

- ・ 情報統計課



▲窓口対応で活用しやすい場所に置かれたパソコン

平成 15 年に 1 市 2 町を統合。

既存システム採用でスムーズに移行

千曲市は、システム統合に向けた協議を十分に重ねた上で、平成 15 年 9 月に合併。旧 3 市町同一システムを活用していたことから、統合による混乱もなく、スムーズに業務が開始された。現在、法令業務を中心に活用されている。

合併前の各市町村情報

区分	人口 (農家人口)	世帯数 (農家戸数)	農地面積 (ha)	活用台帳システム (会社名)
更埴市	39,401 (10,634)	12,030 (2,480)	921	(株)電算
戸倉町	18,326 (4,499)	6,107 (1,038)	339	(株)電算
上山田町	6,821 (1,842)	2,392 (446)	192	(株)電算

システム統合の経過と 運用方法

■ 経 過

平成 14 年 4 月～

合併協議会を開催し、政策推進課長を責任者とする各課 1 名、計 15 名で構成される電算一元化チームを結成した。このチームの中で、各種台帳のシステム統合に向けた課題の洗い出しや仕様の検討、データの移行方法などの協議が進められた。

ココがポイント！

システム会社の社員 1 名が、合併協議会に常駐する体制をとったため、固定資産税関連や住民基本台帳関連、下水道関連など、関係分野との検討を綿密に行うことができた。

平成 15 年 2 月～ 8 月

各種台帳の情報を(株)電算のシステムに一本化することが決定。これ以降、データの整備や移行、未実施業務の登録など具体的な作業が開始された。

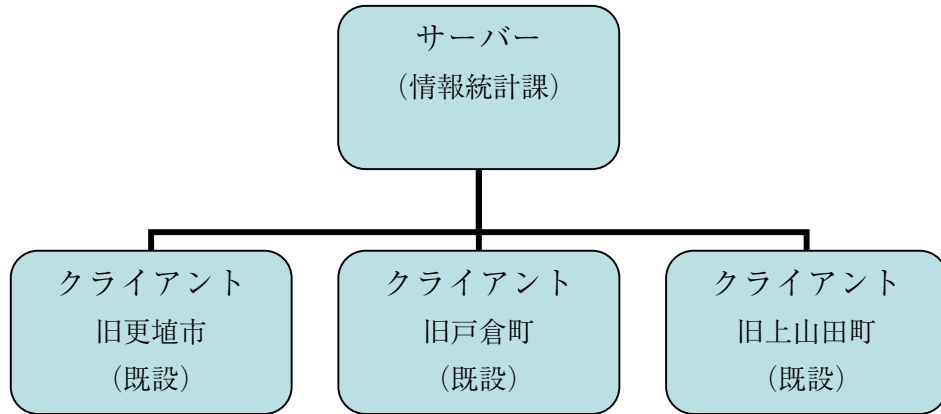
平成 15 年 5 月～ 9 月

システムの総合テストを実施すると同時に、職員の操作研修を行い、本格稼動に備えた。また、稼動後の農業関係の情報では、入作などの整備、農地処理コードの整備などが行われた。

平成 15 年 9 月 合併

統合システムの体系

クライアント・サーバー型



■合併実務担当者へのアドバイス

住民登録外のデータ一本化が、システム統合時の最大の課題になります。住民登録外データは、各市町村で、それぞれのコードで登録しているため、新たに同姓同名者リストを手作業で作成して、入力し直すなどの工夫が必要となります。

■効率的運用に向けた対応

住民サービスの低下を防ぐため、本部の農業委員会（上山田支所）に加え、2つの支所（旧更埴市と旧戸倉町の経済課内）でも農業委員会の業務が対応できるように体制が整っている。

また、住民基本台帳や税務情報などの共有化は、個人情報保護の観点から、パスワード管理により、職員ごとの利用範囲を限定している。

活用事例

法令業務の際の現地確認が、スムーズに

農地の転用や農地貸借などの法令業務は、月間約50件に上るが、同システムを利用することで、事前に情報を得てから現地確認に向かうことができるため、迅速に確認が行える。また、納税猶予対象農地について、3年ごとに証明書を発行しているが、その際の現地確認にも航空写真を活用し、作業をスムーズに進めている。



▲地籍図と航空写真を重ね合わせることで、迅速に場所を特定できる